

開講科目名 / Course	小児看護学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	草野 淳子	
担当教員名 / Instructor	草野 淳子、足立 綾、堤 恒貴	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
授業回数	40	
科目の目的と概要	健康な小児とコミュニケーションをとり成長発達を理解する：保育所実習では13施設に分かれて、各学生が3日間の実習を行う（7月末）。 健康障害のある小児とその家族への看護を实践する：総合病院または医療型障害児入所施設における医療施設で7日間の実習を行う（8月31日～11月20日）。	
到達目標	1. 小児看護学の既習の知識・技術・経験などを基盤として、小児と家族への看護を実施できる。 2. 保育所では小児の発達段階における特徴や個人差を考慮した日常生活への援助を実施できる。 3. 保育の特徴と支援する大人の関わり方を述べることができる。 4. 病院では健康障害のある小児の療養生活における看護過程を展開できる。 5. 小児と家族への看護実践を通して、専門職としての自己の課題を述べるができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	授業計画 実習期間： 1) 保育所実習は、2026年7月21日～7月31日（各自3日間） 2) 病院実習は、2026年8月31日～11月20日（各自7日間） 実習施設： 1) 保育所実習は、市内13施設に分かれての実習 2) 病院は、大分県立病院（小児病棟）と別府発達医療センターの2施設に分かれての実習 実習方法： ・保育所実習では、配置された保育所で、小児の保育を实践する。年齢別の小児の成長発達を理解するため、できるだけ異年齢のクラスに入り保育を实践する。 ・病院実習では、学生は患児1名を受け持ち、看護計画を立案し看護過程を实践する。受け持ち患児以外の小児に行われる検査・処置にも積極的に参加する。 ・実習中の記録は実習時間外の自己学習となる。 *実習オリエンテーションは7月上旬に行い、詳細を説明する。	
その他の授業の工夫	保育所実習では、保育所一カ所につき2～3人で配置される。担当のクラスで主体的に実習し、疑問などはタイムリーに自分から質問することが求められる。各グループで最終日に「手洗い法」の健康指導を行う。 病院実習では、受け持ち患児の看護過程の展開の他、病院の院内学級や処置の見学などを行う。	
時間外学修	事前学修として小児看護や受け持ち患者の病態の学習をしてください。教科書や専門書を用いて事前学習をした上で実習に臨んでください（5h）。 事後学修として、看護過程の展開（情報収集・アセスメント・看護診断・看護計画の立案）、ファイナルレポートについて学習・記載をしてください。また、学習不足の部分は専門書を用いて調べてください（5h）。	
評価方法と評価割合	実習態度20% 事前学修：看護過程の展開（情報収集・アセスメント・看護診断・看護計画の立案・評価・サマリー記載）病態の学習70% 事後学修：小児看護学実習での学び、病態の復習（ファイナルレポートの記載）10%	
テキスト	各自	
参考書	各自	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の實務経験	有・無	有

	内容	草野淳子：産科病棟助産師、保健所保健師 足立綾：病院小児科看護師 堤恒貴：病院小児科看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	産科病棟助産師(新生児看護、母子愛着形成、看護過程の立案)、保健所保健師(乳幼児健診、未熟児訪問)、病院小児科看護師(病気がある子どもの看護過程の立案、小児科で必要な技術)の経験をふまえる。保育所実習では、健康な小児の成長発達を理解し、保育の実践を教授する。病院実習では健康障害がある小児の看護過程の展開と日常生活援助・看護技術を教授する。	